

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak  
LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

A 1 2 3 4 5 6

M 8 9 10 11 12

B 13 14 15 16 17 18 19

横濱参事簿全

特別  
4140  
74

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20  
JAPAN  
Tajima



ダンラチ



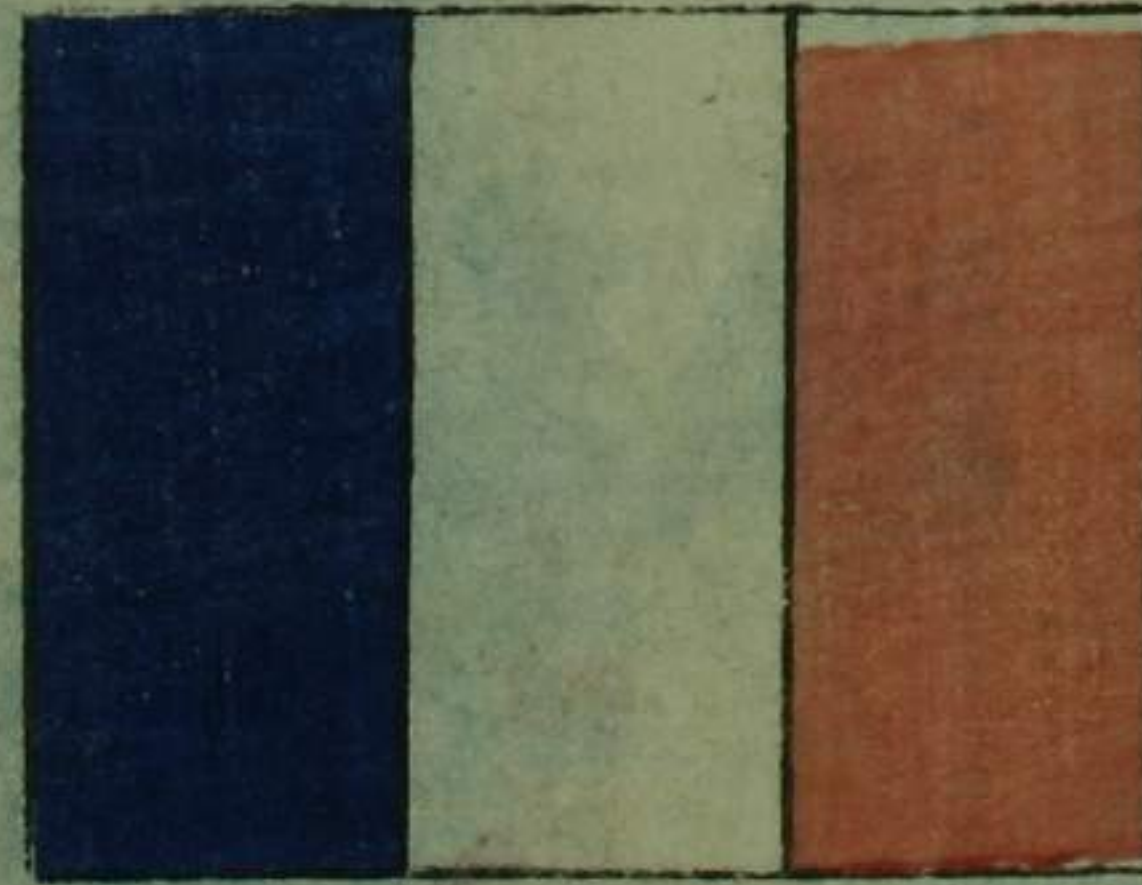
カリメヲ



ヤシロヲ



スンラフ



門  
凡  
號  
4140  
卷

義形を能く波奈

横濱六重ノ談

綿港堂藏

昭和二年四月四日









横濱



横濱











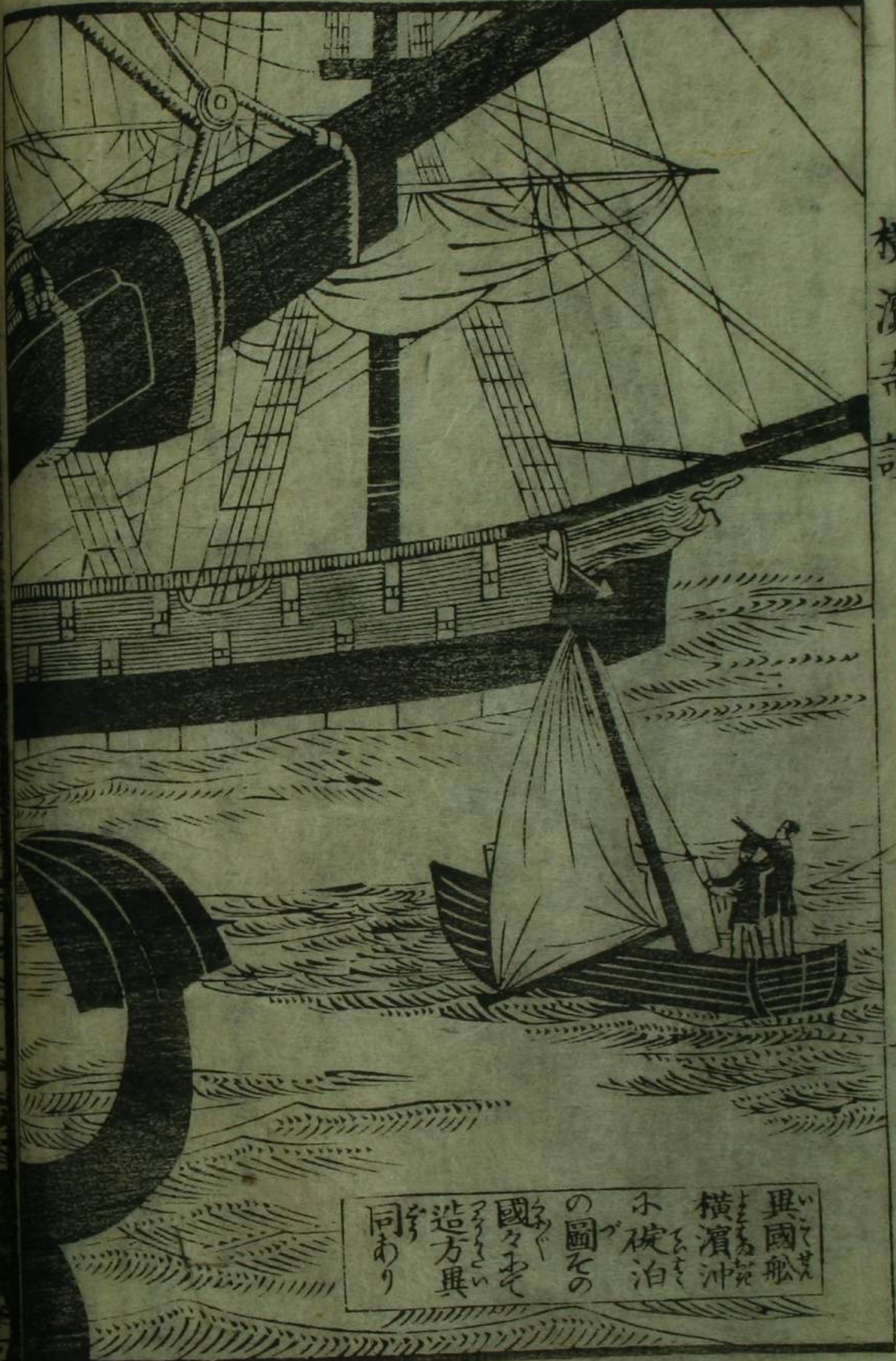
皇國におおきく  
 官許あり一通書の養ハ貨易の好勢とて  
 幣り双方とも片賣片買ありていづきも現金の通あるは  
 此の慶大なるるは代末まで一日のうち一萬あり二萬あり  
 又方あるは枚口のくりありて此の言ハ限りありて  
 を後一ゆつて日のうち代銀はさし進ふらちあくるは  
 ありともありとまて莫老の洋銀と麻賊布あふらち  
 丁種ありは怪子のさし肩ふらちのせ堅様ふり行  
 りづり一被洋銀の相場朝暮ささかゆ一ふき浅活業と  
 一と世渡りとも件多あり世とのあはれ屋とあふと俗ふドル  
 屋と唱あふとと外國より持こりたる品物の波戸場一つにけ

そのまじり改海のうく水物の出割合通りの海運上相納め  
 して後賣買ふありてを我國の品物とては行はるるの養ハ  
 同根なり外國より渡来する水物のたぐひギヤマン  
 細工の器物業種の類そのうちお救多々ねが器をす我  
 より多々とて賣さるる水物の生糸業海のもの石炭その  
 ろり救ありり類とて何れより海邊のさし進み町舎  
 とも海渡海のものも救内へおこむりなり國産地の商人  
 高銀へ出入のさし進み銀れと腰に提さるる金用のもの  
 出入りると許さるる者なり所開港の起来ハ嘉永七寅  
 年亞墨利加國より使節と渡して本使ペリ副使アーナムス









興國船  
 横濱沖  
 小碓泊  
 の圖を  
 國々  
 造方異  
 同あり



右の通りまづ町敷早又町ありまじとも家敷の凡そ万  
 石もあつよびき秋儀又々年ふも満ちるふかく繁花の猪地  
 とかりしる金く御仁恵の意なきあかり作でもあか  
 づき御國園ありすの家敷不對してハ人民の多きし  
 湯屋髪結床とわつともまづ一子朝より敷ふいける  
 難業なきのみ目とあきらみたるり之後船場ハ本町一丁の  
 河原あり此亦も流石物法改不所関門なり此亦より出  
 船して新嘉川宮の河原と中亦くあつる船賃ハまじ人ま  
 半八文ありその海上船賃の後系他よりたつ一両の留士と  
 正面に見ると右の秩父甲州の山はたつなりたふハ箱根

天城山通くハ藤倉倉沢をまじふれまじ東ハ房総加  
 納山鑑山とまじふれまじ目赤小見る魚漢の活業ハ  
 名ふお小赤赤川の猪系浦崎と猪焼の松雲山後の地産  
 南ふハ横濱の級系乗船泊の美和ハ青葉赤の旗とまじ  
 一ノ美入飯の遠見ハまじ小我園ハおのりまじハ亞固の  
 ハシントハ英王ロンドンの港ハまじもかくやあんとおのり  
 高家繁昌のつりさる氏のかまやまおのりハの所製とまじ  
 思ひ出さる実小系まじハまじまじハまじハまじハまじ  
 ありかまじ御代小種ハ此猪焼とまじまじハ遠城まじハ  
 海道運來の旅客かまじハ一賢ハまじハまじハまじハまじ









異人横濱の

海岸より

写真鏡と

遠近の

佳景を

見る

黄真鏡

寫真鏡の箱も亦あり  
 小るもの微細も大なるもの  
 廣くうつゝ此箱のひい  
 とも小うなるものと明小  
 せんころ天より一糸のそ死  
 布をさぶら箱にも入る  
 とも小箱の口より日光を  
 入て色をも変せを明白



黄真鏡



橋の勢くさくて娼妓ふ色紙わをもまぶさくは夢あつくの英花  
 終る宮なり若亀橋の家道入る藤丸橋のどくあてあさる  
 も就界よむくく毎月の娼妓き月の俄踊とん目く  
 の賑ひ目とをどろろー素見そめきい和入美人おまどろそ  
 昼おとちも娼妓の道中の綺羅とどろりて産物利物を  
 好このまふふみまどろくく勝り若かざりたる新ひ天女のあま  
 くらり〜新と銀がらる橋上より洋館の花と咲く〜め  
 ぬよふを沼の裏と着ち〜せりかろる金巻のありさるこ終  
 の廊あもあさく〜おるま〜とぞ思ふるされびと〜びは庭ふ  
 けづ〜と〜の〜  
 ますと英人屋敷ふ士官と商人と有り士官のちハニストル  
 コンニエルあさひの通辨官さる船お杯とあり〜落〜  
 彼玉の旗袴とわ〜たて〜あり高敏あはれの旗のなまれども  
 高用の看板ら〜き簾〜つり〜つづもも屋敷の造り方へ壁  
 みる尺石と積〜かさ〜の障子のギヤマンあり張間毎の志記  
 くのふ又〜きあ〜つ十重〜つづもも〜杖杖  
 くの色の棟板あり柱の葉〜き〜布〜  
 お〜〜向〜い〜お〜下間毎〜  
 沢山〜記〜柱の煙りの洞窟と〜お招〜  
 をあけたの植より濃〜天井壁あとも〜

ますと英人屋敷ふ士官と商人と有り士官のちハニストル  
 コンニエルあさひの通辨官さる船お杯とあり〜落〜  
 彼玉の旗袴とわ〜たて〜あり高敏あはれの旗のなまれども  
 高用の看板ら〜き簾〜つり〜つづもも屋敷の造り方へ壁  
 みる尺石と積〜かさ〜の障子のギヤマンあり張間毎の志記  
 くのふ又〜きあ〜つ十重〜つづもも〜杖杖  
 くの色の棟板あり柱の葉〜き〜布〜  
 お〜〜向〜い〜お〜下間毎〜  
 沢山〜記〜柱の煙りの洞窟と〜お招〜  
 をあけたの植より濃〜天井壁あとも〜









黄門行状

異人館の内  
 小兒集りて  
 さあぐの遊  
 戯をみる  
 圖



梅澤言





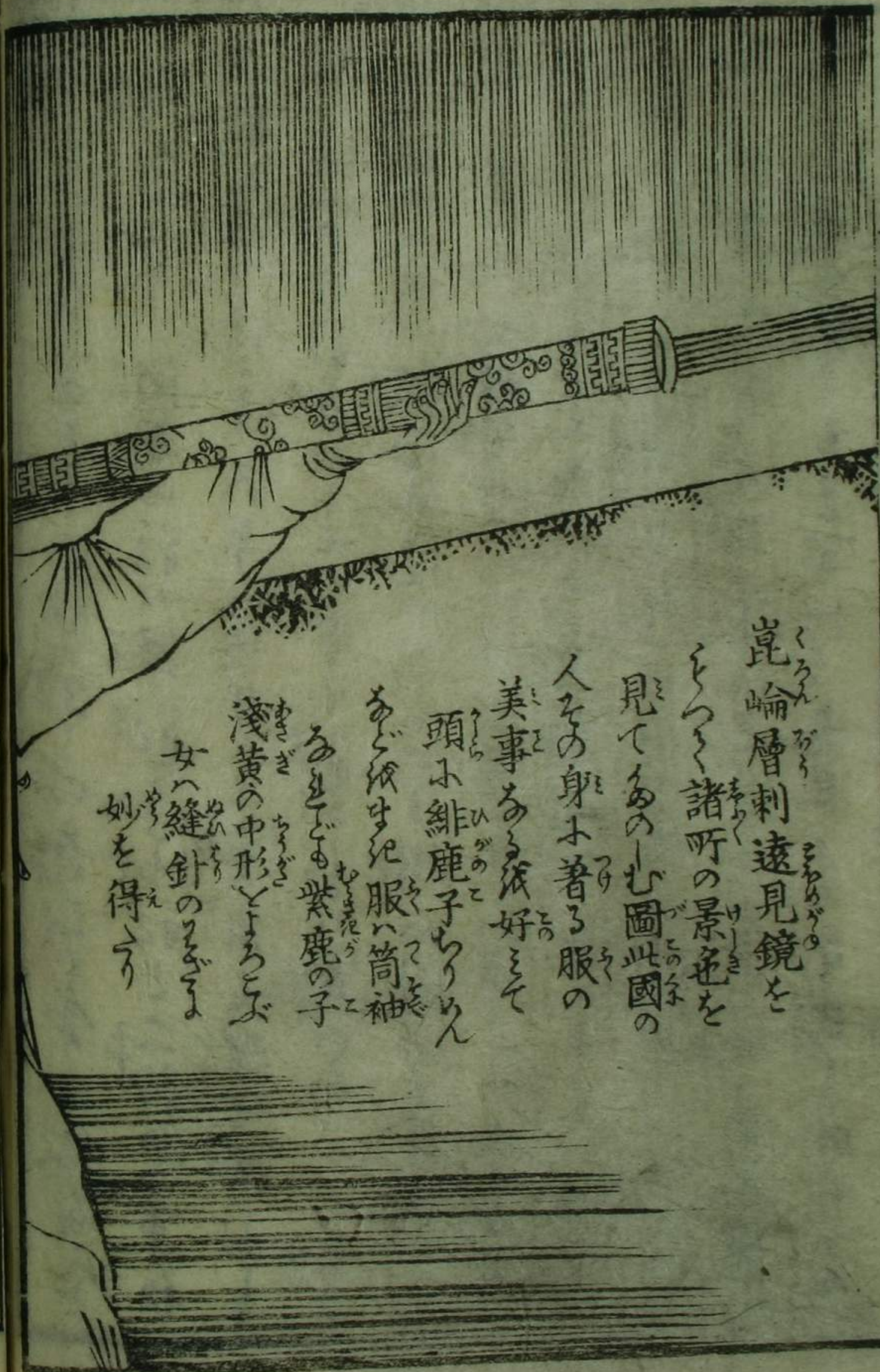








横濱奇談



横濱奇談

崑崙層刺遠見鏡を  
 見ても多の心圖此國の  
 人その身小著る服の  
 美事ある後好きて  
 頭小緋鹿子わらわん  
 ろと浅黄の中形とよろこぶ  
 女へ縫針のこころ  
 妙を得たり

六

三











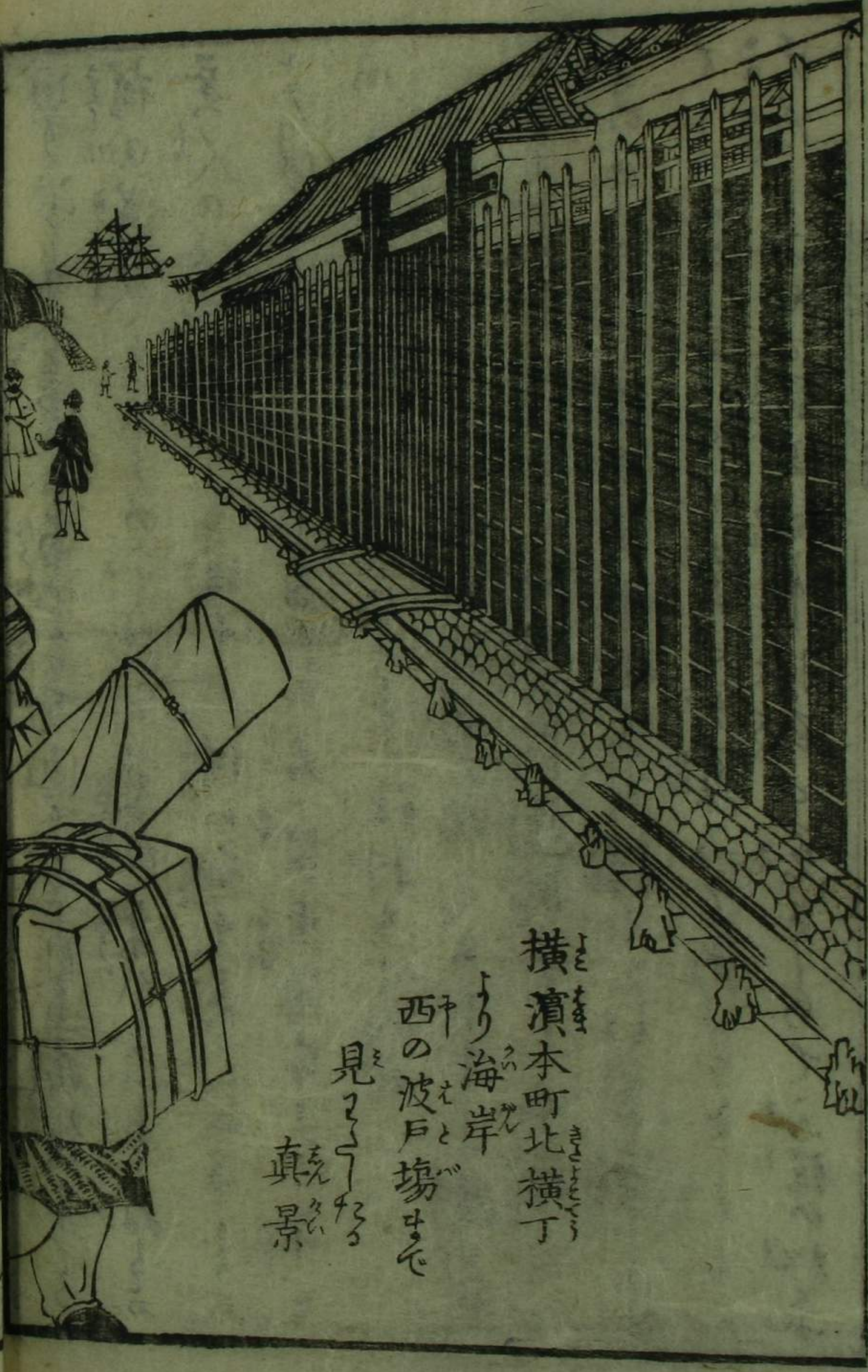
ありて何れも集向をどし何れもあまふありなりなり  
 りり用由を調法を係利あるべし  
 一種の青物りりあまふ人々勿論地帳を系あがす  
 せり積り積せればその形を合する少くも遠りて微  
 細にギヤマン積り通るより更なる消るるのあきあめの子更  
 さね人を移す所その容解そのあまふなりり我國の  
 人々も存生の内々給師を命とて我画係といふ一息持  
 ちて子孫を傳へてあまふも何れもあまふも  
 此子真積と用ひあまふも遠りて可あまふ  
 價をギヤマンの大少よりて我を係あるもあまふも

河りびりり今あまふの地毎天通りあ丁目小居住ま  
 操田蓮杖といふもの、その傳を覚好業いよいぬるの  
 吳人の仕とあまふも遠りて倭へ却て吳人のあまふ  
 よ月と直り出あまふあまふ若右の画像あどの海  
 何る人々の積りの命せり係利ある人終  
 諸亦彼國の婦人もあまふ二派  
 細面ふく存積あまふ婦人  
 金の年々令銀瑞橋珊瑚と種くよかざり  
 天海一あやと額る積り羽衣とあまふ三條の松系





南京人<sup>なんきんじん</sup>和物<sup>わぶつ</sup>を求<sup>もと</sup>め  
 商館<sup>しょうくわん</sup>へか<sup>か</sup>つる<sup>つる</sup>処<sup>ところ</sup>



横濱<sup>よこはま</sup>本町<sup>ほんまち</sup>北<sup>きた</sup>横丁<sup>よこぢ</sup>

より<sup>より</sup>海岸<sup>かいがん</sup>

西<sup>にし</sup>の<sup>の</sup>波戸<sup>なと</sup>場<sup>ば</sup>中<sup>なか</sup>へ

見<sup>み</sup>え<sup>え</sup>る<sup>る</sup>所<sup>ところ</sup>

真景<sup>まぎやう</sup>



一 海に死風情ありす。馬よ、さるる。男子あもむと  
 するまどくつらむされども。彼玉の風ある。秋娘のさうらむ  
 我國の婦人。十倍せりさるる。密史とさるる。あざむら  
 りの。煙我あもあき。真標とさるる。まの。あやむら  
 夫婦の中。碧膝。きさるる。あき。あやむら。あやむら  
 りの。道。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 考の。はづい。の。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 たる。より。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 又。美人の。小児。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 を。も。刺。さるる。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら

母の乳の香せ。牛の生乳。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 俗あり。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 樹の枝。細根。と。結び。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 左。右の。根。を。結。ま。せ。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 寒。さるる。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 庭。の。松。と。せ。り。例。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 大。洋。と。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 此。頃。より。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら  
 自。然。と。あやむら。あやむら。あやむら。あやむら



この好まぬとやふおつ—まゝの美人の妻とあり—女  
 をさしてラシヤメンと唱ふあり此名と負—元とつた  
 美人被さうり連まらり—ラシヤメンとつた歎あり—  
 素直ま—そよく人ま馴た—むそのわすり船中あそ  
 マドロスどもをいふ頼悩まきま—とら此歎とそつて  
 おうまのありとぞ此あ—美人ふ祀さうまの義より—  
 ラシヤメンといひあ—の理あり誘よつた机よコシカイ  
 馬止動の海りあも似たり—今ま争うてい路めがら  
 けつお—ま—彼國より夫も連まらりて願付あそ  
 せむとよりてい價ドルに換ねま—めすねも出—賞

此とぞこの大我國の夫とあひ結婚その願まはさ  
 きたるひ—何本までも好ありその途申あそおめ  
 たるあまの風呂—き色あそは—附あそ—い  
 願まの巻まらりまらり—第一途申あそおてまら  
 するまらりるは—あひする程のおと—まらまら  
 舞出さんとあひの教文あそ—はる毎日食よりあど  
 のまも我例—引舞まらり—喰さ—のあを引まけてあ  
 するまらりる兄子のあ—は—分まらまらまら  
 似合まらりるあり且當地の人あど英國の夫をバカメと  
 するまらりるあ大とつていカメ—とよぶそのあまら







天守堂の圖



子終りて墓をくわに藤枝の  
 まつたてりてそのまゝに  
 鉄炮と祭まつるの勢なり  
 墓に元村坊徳院といふ  
 寺あり墓志に「天守堂」  
 といふ西洋人南条人とも破  
 壊しつり法事の節もかの  
 天守堂に集りて古田やう  
 なる又ゴシタラシといふ  
 墓志に「天守堂」といふ

我國の税法法義やうのついでに  
 彼寺よ出たつてきよのついでに  
 倉庫も一掃してついでに  
 あつたつてついでに  
 中と被るの横ついでに  
 十字紋合せついでに  
 薬学のついでに  
 といふ事ついでに  
 といふ志ついでに  
 といふ事ついでに

貴賈子行



この本を  
用ひて  
書の  
何れ  
も  
聞  
く

ア	ビ	ブ	ド	イ	フ	グ
A	B	C	D	E	F	G
a	b	c	d	e	f	g
ヘ	イ	エ	ケ	ル	ム	ン
H	I	J	K	L	M	N
h	i	j	k	l	m	n
オ	ピ	キ	ル	ス	テ	ウ
O	P	Q	R	S	T	U
o	p	q	r	s	t	u
ビ	ワ	ク	リ	イ	ブ	
V	W	X	Y	Z		
v	w	x	y	z		

数の字

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
ワン	トゥ	ツト	フル	ファイフ	セキス	セベン	エイテ	ナイン	テン
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

○外国人商館番附人名

一	二	三	四	五	六	七	八
番 英ガハル	番 英ペール	番 英ヘサアルテ	番 英ハカラク	番 英カラタク	番 英ハツパト	番 英セントロン	番 蘭ヘロト
1	2	3	4	5	6	7	8



九番	廿九番	四十九番	六十九番
十番 <small>佛 ブレイ</small>	三十番 <small>佛 コンスタンゴ</small>	五十番 <small>英 トーレル</small>	七十番 <small>蘭 ハタゴヤ カブタイメン</small>
十一番	三十一番 <small>英 ロレロ</small>	五十一番 <small>英 アイテラ下</small>	七十一番 <small>英 バリル</small>
十二番 <small>蘭 ヒトイト</small>	三十二番 <small>佛 ベリコウ</small>	五十二番 <small>英 デーセン</small>	七十二番
十三番 <small>亞 ベーカ</small>	三十三番	五十三番 <small>佛 コンヨー</small>	七十三番 <small>亞 ショヤ</small>
十四番 <small>英 アスフ子ル</small>	三十四番	五十四番 <small>英 ベール 亞 ストイ</small>	七十四番 <small>英 ユース</small>
十五番 <small>亞 アシビル</small>	三十五番	五十五番 <small>英 マキタル</small>	七十五番 <small>英 サスウ</small>
十六番 <small>英 アサフ</small>	三十六番	五十六番 <small>英 ユラルト</small>	七十六番 <small>英 メーリン</small>
十七番	三十七番	五十七番 <small>亞 フリーマン</small>	七十七番 <small>蘭 キリマシタ</small>
十八番	三十八番	五十八番 <small>英 マアサウ</small>	七十八番 <small>英 ロブレニ</small>

十九番 <small>英 アラハルス</small>	三十九番 <small>亞 ヘッポロン</small>	五十九番 <small>英 センキンス</small>	七十九番 <small>亞 ラブケン</small>
二十番 <small>英 ミストル 子ーセン</small>	四十番 <small>亞 ペーカ</small>	六十番 <small>佛 フッキマン</small>	八十番 <small>佛 天守堂 シラル</small>
廿一番 <small>蘭 バトー</small>	四十一番 <small>蘭 ハタケ</small>	六十一番	八十一番 <small>英 クラヲ</small>
廿二番 <small>英</small>	四十二番 <small>英 ヨグン</small>	六十二番	八十二番 <small>英 ジャキマウ セメンズ</small>
廿三番 <small>英 ナーエ</small>	四十三番 <small>亞 ライス</small>	六十三番	八十三番
廿四番	四十四番 <small>蘭 ベレゴ ス子ル</small>	六十四番	八十四番
廿五番 <small>蘭 リコー子</small>	四十五番	六十五番	八十五番 <small>英 ヘンルサ</small>
廿六番	四十六番	六十六番	八十六番 <small>亞 マコール</small>
廿七番 <small>亞 ウエリト</small>	四十七番	六十七番	八十七番 <small>英 ツウ イウスデン</small>
廿八番 <small>英 ベル</small>	四十八番	六十八番 <small>英 メノシタ ゲヒシワタ</small>	八十八番



八十九番 併 ジヤクマン 九十五番 百二番 英 ベトリ 百七番 蘭 ホフトカル

九十番 英 ハベル 九十六番 百三番 丑 フケルヤ 百八番

九十一番 英 アシビノル 九十七番 百四番 百九番

九十二番 併 クタヨイ 九十八番 百五番 百十番

九十三番 九十九番 百六番 丑 ゴフル

九十四番 丑 レマン 百番

此のありいトトキキ説きさうぶる多しといつても元來奇言此の  
ゆるめ小著を著るは成りそ只そは大概とつてそ  
事さういふては悉くたふさそ化さる園人よるく  
— 玉えんり紙希よの—  
港の美撰演奇談



